

事業番号	10 02 27	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業総合センター試験研究普及費			担当課	部局	林務部	
					課・室	信州の木活用課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-4 森林を生かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木利用促進			実施期間	S63 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	林業総合センターは、長野県の森林・林業に関する唯一の総合的試験研究機関として、森林の造成、木材利用、特用林産の振興等、県民・関連産業界等からの要請に応じた課題、緊急に解決を要する課題等、多様な行政課題に即座に対応するため必要な試験研究等を行う。 成果目標:研究成果の発表等 年間80件		
現状(予算編成時)	国委託事業の予算減及び県費の抑制に対して、喫緊の課題を精査し、平成25年度は32課題、平成26年度は本研究費により25課題を実施。平成27年度に向けて研究内容の精査を行い、7課題を終了させる一方で新規課題として13課題を予定し、平成27年度は31課題を計画する。		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 実施中	森林・林業に関する県内唯一の総合的試験研究機関で、技術支援が必須。 森林の有する公益的機能の評価検討は民間等では実施できない。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	○長野県森林づくり指針、長野県森林づくりアクションプランの目標達成のため、森林・林業の発展にむけた優先順位の高い喫緊の課題に対応した試験・研究や技術開発を推進する。 成果目標:研究課題一課題につき2件以上の成果を新たに公表することとし、今年度と同等の80件の研究発表を目標とする。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		計画的な森林整備の推進、災害に強い森林づくりの推進 10課題	直接	・針葉樹人工林の低コスト更新技術の開発 ・高齢広葉樹林などの更新管理技術に関する研究 ・シカ等に対する新たな物理的防除に関する研究 ほか	11,438	6,368	12,886

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	35,728	47,004	46,977	42,081
	補正予算	31,122	-22,109	-32,701	
	合計(A)	66,850	24,895	14,276	42,081
	一般財源	37,181	5,982	5,957	5,658
	県債				
	国庫支出金	25,599	15,574	6,305	34,088
	その他	4,070	3,339	2,014	2,335
	決算額(B)	52,239	24,895	14,250	
概算人件費	職員数(人)	17.00	17.00	17.00	17.00
	概算人件費(C)	140,386	140,386	140,692	140,692
	概算事業費(B(A)+C)	192,625	165,281	154,942	182,773

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28
		目標	成果	達成状況	目標
研究成果の発表等	111件	80件	99件	達成	80件

目標に対する成果の状況	研究成果は、長野県内の研修会などで積極的に発表したほか、専門雑誌や全国規模のシンポジウムなどで報告し、全国的にも高い評価を得たものがあり、研究成果の発表件数も目標(80課題)を達成。(実績99課題)
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	試験研究の成果については、引き続き研修会等で普及を図るとともに、研究の向上農林水産省等の研究公募事業への応募を積極的に行っていく。